

ヲ増加セリ白金ノ相場ハ一「ブード」ニ附キ七八千留ノ間ニアリ白金精鍊所ハ彼得堡ニ二箇所アルノミニシテ此他ニハ曾テ此種ノ精鍊所ナシ銀ハ主トシテアルタイ及ネルチンスク地方ヨリ産出シ大抵帝室ノ所有ニ屬ス又高加索ギルギーズ曠原及南部露西亞ヨリモ産出ス帝國所屬坑ヨリ産出スル銀ハ毎年平均二百七十五「ブード」ニ達ス銀ノ産出高ハ當分増加セサルヘシト云フ尙ホ千八百九十三年中ノ産出高ヲ調査スルニ僅ニ五十四「ブード」ヲ産出セシ芬蘭ヲ除キ全國ノ産出高ハ七百二十九「ブード」ニ達セシカ此内二百二十一「ブード」ハ碎金ヨリ析出シタルモノナリ而シテ此産出高ハ千九百九十二年ニ比シテ恰モ一割三分減ニ當レリ千八百九十三年中處々ノ金坑ニ於テ雇用シタル坑夫ノ數ハ總計九万四千人ニシテ此内四万八千人ハ烏拉爾地方ニ於テ雇用シタル者ナルカ其烏拉爾ニ於ケル一箇月ノ賃銀ハ男十五留以上三十留以下、女十留以上十五留以下、兒童十留以上十八留以下ナリ又同年中異變アリタル數ハ烏拉爾諸金坑ノ分六十四回、此内人命ヲ害シタルモノ十八回、西伯利諸金坑ノ分二百六十四回、此内人命ヲ害シタルモノ十七回ナリ蓋シ西伯利ノ採金業ハ今日ニ在リテハ畧々前ニ述ヘタルカ如シト雖モ若シ西伯利鐵道完成スルニ於テ其面目ヲ一新センコト期シテ持ツヘキナリ(本年九月二十日英國工藝協會雜誌)

○世界鐵道業ノ進歩

本年九月二十七日ハ正ニジョージ、ステフエンソンカスト、グトン、ダールリントン間ノ鐵道ニ於テ機關車ニ由リテ列車ヲ運轉シ以テ乗客ヲ輸送シタル以來七十年ニ當レリ即チ千八百二十五年九月二十七日右ノ線路ニ於テ一列ノ客車ヲ率フル機關車ハ一時間ニ附キ十五哩ノ速力ヲ以テ進行セシカ今日此短距離ノ線路ハ千五百臺ノ機關車ト九万

臺ノ車輛トヲ有スル大鐵道ナル北東鐵道ノ一部分ニ屬スルニ至レリ英國ニ於テハ鐵道業ノ
 進歩迅速ニシテ既ニ千八百二十九年ニ於テハリヅブル、マンセスタル間ノ大鐵道開通セ
 リ現今世界ノ鐵道總延長ハ六十七万千七百七十、キロメートルニ達シテ赤道ニ於ケル地球周圍
 ノ十六倍四分三ニ當リ又地球ト月球ノ平均距離ヨリモ長キコト殆ト三十万、キロメートルト
 爲レリ此總延長ノ過半即チ三十六万四百十五、キロメートルハ亞米利加洲ニ屬シ而シテ同洲
 ニ屬スル二十三万八千五百五十、キロメートルヨリ長キコト凡ソ十二万二千、キロメートルナ
 リ亞細亞ノ鐵道延長ハ現今三万八千七百八十八、キロメートルニ過キサレモ西伯利鐵道完成
 ノ期ニ至ラハ忽チ大ニ増加スヘシ亞細亞及阿非利加(一万二千三百八十四、キロメートル)ノ鐵
 道延長ハ其土地ノ廣大ナルニ比スレハ殆ト言フニ足ラサルモノナルカ濠洲ノ鐵道延長ハ二
 万千八十、キロメートルニシテ其面積トノ比例已ニ甚タ小ナラス而シテ其人口トノ比例ニ至
 リテハ頗ル大ナリ(去月十九日紐育スターツ、ツァイツンケ)

○鐵道客車ノ單級制

鐵道客車ノ等級ヲ廢スヘシトハ既ニ屢々英國ニ於テ行ハレタル所
 ナルカ同國鐵道雜誌レールウエイ、ウオールドハ鐵道交通上實驗シ來リタル事跡ニ基キ近來類
 ニ鐵道客車ノ單級制ヲ主張セリ其要旨ニ曰ク單級ナル普通客車ノ設備ハ吾人ノ生活ニ適當
 スル様便利ナルヲ要ス若シ是ヨリ以上ノ便利ヲ得ント欲スルモノアラハ之ニ對シテハ二人
 分ノ席料ヲ拂ハシメテ二席ヲ使用スルコトヲ許シテ可ナリ凡ソ交通ハ其方法ノ容易ナルニ
 從ヒ益々頻繁ナルニ至ルコト經驗上争フヘカラサル事實ナルヲ以テ單級制ヲ採用スルコト
 ニ關スル調査ノ結果モ亦鐵道客車ノ等級ヲ廢スルカタメ收入ノ減却ヲ招クカ如キコトナカ